

2月定例記者会見 市長原稿要旨

はじめに、「龍ヶ崎市牛久沼フォトコンテスト2020」の入賞作品の展示に関する情報提供です。

本年度で3回目となる本コンテストは、本市の貴重な地域資源である牛久沼の認知度向上やイメージアップ、沼の有効的な利活用を推進することを目的とし、昨年の7月から今年の1月までの約6か月間、牛久沼の四季折々の自然や風景を題材にした写真を募集しました。

市内外から総数223点の応募があり、この度、全6点の入賞作品を決定しました。最優秀賞は中野 正則(なかの まさのり)さんの「牛久沼と日光連山」となっております。牛久沼越しの山といえば、富士山と思う方が多くいらっしゃるかと思いますが、日光連山も沼越しに綺麗に見えることも龍ヶ崎の魅力であると作品を通し、感じさせていただきました。

入賞作品は、本日2月22日から3月19日までの間、市役所本庁舎1階ホールで展示しております。どの作品も、様々な視点で本市が誇る牛久沼の姿を写しており、すばらしい一枚となっておりますので、ぜひ、ご覧ください。

また、来年度には今回の入賞作品を掲載した「2022年版牛久沼カレンダー」を作成する予定です。本市では、引き続き牛久沼の魅力発信を進めてまいります。

次に、高齢者が介護を必要とする一歩手前の状態「フレイル」になることを予防するリーフレット「ずっと元気で龍ヶ崎～いつまでも自分らしく～」の配布に関する情報提供です。

コロナ禍により、高齢者が集まる場所の利用停止や「シルバーリハビリ体操」などをはじめとする、介護予防のための運動や栄養教室や交流イベントの中止が相次

ぎました。そのため、今まで以上に自宅で過ごす時間が増え、介護を必要とする一歩手前の状態「フレイル」に陥る高齢者の増加が懸念されることから、自宅でもフレイル予防を心がけていただけるようにと、リーフレットを制作したものです。

口腔や栄養、運動面でフレイルの予防・改善ポイントを説明し、自宅でできるセルフ体操を市職員が実際にモデルとなって紹介したり、リーフレットを読んだ後はポスターとして家の中に貼れるようになったりと工夫をこらした内容となっています。

発行部数は4,000部で、現在、自粛している介護予防の活動にこれまで参加されていた方を対象に2月下旬ごろから先行配布し、3月1日からは、概ね65歳以上の市民の方を対象に市役所や各出張所で配布します。

本リーフレットを通し、高齢者の方が感染症予防をしながら、住み慣れた地域で健康的で自分らしい生活を続けられるよう、自宅でも、体力や筋力の維持に取り組むきっかけとなることを期待しています。

最後に、新型コロナウイルス感染症対策をまとめたリーフレットの配布に関する情報提供です。

感染症予防には、「手洗い」「うがい」「マスク」や「不要不急の外出自粛」「会食は控える」といった感染予防対策の徹底はもちろん、正しい情報を入手し、正しく恐れ、適切な対策を緩めることなく、取り続けることが重要です。

本市では、市民の皆さまに新型コロナウイルス感染症について、正しい情報を入手していただき、適切な対策や判断をしてもらうことを目的に、感染症対策の情報をまとめたリーフレットを3月15日から市内の全ての家庭に配布します。

リーフレットには、新型コロナウイルス感染症の症状や感染を予防する対策など基本的な情報はもちろん、龍ヶ崎市内の感染状況や感染が疑われる際の相談先

などをイラストで分かりやすく紹介していますので、ぜひ、ご家族でご一読いただければと思います。

また、感染症防止対策として、住民同士の接触機会を減らす観点から毎年3月中旬に住民自治組織を通して配布している「保健センター年間予定表」や「ごみの出し方」、「龍ヶ崎市税等納期一覧」を今回のリーフレットと合わせて、各ご家庭のポストなどに直接お届けする「ポスティング」で配布します。